

## 介護保険導入前夜、出展は540社を超える

1999 (平成11)年10月13日～15日

国際展示場「東京ビッグサイト」(有明)

- 内閣総理大臣小淵恵三氏が総理として初めて来場 (ご自身は、初の国際展示会となった1986年第13回に次いで2度目の視察)
- 出展社は前年比約50社増え、543社となり、介護関連の機器・用品や要介護認定基準に関するケアプラン策定に関するコンピュータソフトが増加するなかで、来場者が12万人を超え、介護保険事業や福祉機器市場への期待からか、企業関係者が35%を占めた
- 国際シンポジウム「ドイツの介護保険に学ぶ～その評価と課題」、「介護プランのソフト展・主要関係企業9社のプレゼンテーション」を開催

主催 全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会  
 特別協賛 日本自転車振興会  
 来場者数 127,718人  
 出展社数 543社：海外13か国104社、国内433社  
 ◆東展示場 3、4、5、6ホール



[第26回 ポスター]

### 1999年の福祉動向

介護保険制度施行を翌年に控えていたこと、前年の厚生省の中央社会福祉審議会社会福祉構造改革分科会における「社会福祉基礎構造改革について(中間まとめ)」を受け、社会福祉事業法などの改正が検討され、措置制度から契約制度への移行の準備が進んでいた

小淵恵三内閣総理大臣がH.C.R.を視察、会場では車いすに試乗された



- ▶ 1999年 平成の大合併はじまる
- ▶ 地方分権一括法成立
- ▶ 新エンゼルプラン策定
- ▶ ゴールドプラン21策定

国際シンポジウム

## ドイツの介護保険に学ぶ～その評価と課題

4年が経過したドイツの介護保険の状況と課題を知るために国際シンポジウムを開催し、3日間で1,000人超が参加。同国より招聘した専門家は、制度導入の成果と今後の課題、判定や給付の現状、スタッフの養成、サービスの品質保証などについて報告し、日本のシステムとの違いなどを踏まえて参加者との質疑応答を行った

### ドイツの介護保険制度の実態

マンフレッド・ヴィーナント氏  
ドイツ都市協会助役

チューター

千野直一氏  
慶應義塾大学医学部教授



マンフレッド・ヴィーナント氏(ドイツ)

### ドイツにおける要介護度判定の現状

ガブリエレ・マエストロビッチ氏  
リュウベック介護学校校長

チューター

千野直一氏



ガブリエレ・マエストロビッチ氏(ドイツ)

### テーマ3

#### ドイツにおける介護サービスの提供と評価

マンフレッド・ヴィーナント氏  
ガブリエレ・マエストロビッチ氏

チューター

千野直一氏



千野直一氏

H.C.R. ホームページでのインターネット情報発信は年間110万件のページビューに達し、製品に関する資料請求は年間7,000件超にのぼった